

# 進路ニュース

令和元年12月20日

鳥取県立白兔養護学校

進路担当

令和元年度 第4号

寒さが身にしみる季節となりましたが、白兔養護学校の児童生徒は、北風に負けず元気に過ごしています。今回の「進路ニュース」では、卒業生と白兔検定についてお伝えします。

## 卒業生インタビュー

西村蘭樹さん 2019年4月、天満屋ハピーズ郡家店勤務。入社当初は学校生活と異なる環境に、戸惑っていました。しかし、日を追うごとに目覚ましい成長を見

ています。バックヤードでの仕事を始め、店頭でのお客様に対する接客では親切、丁寧、的確に対応できています。高校生から社会人になり、大きく成長した一人です。そんな西村さんをインタビューしてきました。



◆困ったこと…相性が合わない人でも、仕事だからと一緒に仕事をするのがしんどかった。体調を崩して休みをとった。その結果、給料が減った。

◆どのように解決したか…自分の信頼できる人をつくって、何でも相談している。早寝、早起き、体調管理をする。

◆先輩として、後輩に伝える言葉…お金の管理は自分です。こづかい帳を付ける練習をする。イライラした時の落ち着かせ方を自分で見つけておく。普段からメモを取るくせを付ける。

以上、先輩のレポートでした。(文責 就労・定着支援員 鈴木)

## 小学部 白兔検定

白兔養護学校では、全学部で白兔検定に取り組んでいます。この検定は、清掃活動を通して、学校生活や社会生活において人との関わりの基本となる挨拶、身だしなみ等を身につけたり、整理整頓や清掃技能の向上を高めたりすることを目的としています。小学部の上学年は、机ふきの検定に挑戦しました。

11月末に行われた「はたらく交流～教えて先輩～」で、中学部の先輩にお手本を見せてもらい意欲を高めた子どもたちは、「身だしなみを整える」「元気よく返事をする」「丁寧に拭く」というポイントを意識しながら、各学級で繰り返し練習しました。12月17、19日の検定当日には、ぴりっとした緊張感の中、練習の成果を十分に発揮でき自信を深めました。この経験を、今後の係活動や家庭でのお手伝い等、いろいろな場面で生かして行ってほしいと思います。(文責 金山)



はたらく交流の様子



緊張の検定当日